



元気UP アツプ通信

下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



シティプロモーションサイト
(<http://shimonoseki.citypromotion.jp>)
にアクセスください

目指せ！「選ばれる都市」下関 「シティプロモーション」 推進事業始動！

「こ」 んにちは。市長の中尾友昭です。7月6日に、シティプロモーション推進事業のスタート宣言をしました。

人口減少は、本市のみならず、全国的に重要な課題となっており、国も、地方創生を目的に、東京一極集中を正を進めています。その中で、地方都市では、人や企業をいかにわが街に受け入れるか、アイデアを競っています。つまり、全国1700余りの地方自治体の中から、下関市が「選ばれる」ことで、人や企業の「来る」「買う」「住む」などの行動につながるわけです。そのためには、「下関」をできるだけ多くの人に知ってもらい、豊かで優れた地域資源や各種施策などに関心を持ってもらうためのプロモーション（売り込み宣伝）を行い、「選ばれる都市」となることが必要です。最終的には、「京都」や「神戸」のように、都市そのものをブランド化することを目標として取り組んでまいります。

本年度は、ブランドコンセプトを基に、キャッチコピー（売り文句）やロゴマークなどの作成とシティプロモーション専用ウェブサイトの構築・運用を目指しています。

まず、市民活動団体でご活躍の約20人の方に参加いただき、「都市ブランド懇談会」を10月まで10回開催し、「下関市の魅力」の深掘りをして、本市のブランドコンセプトやキャッチコピーなどを考えていきます。7月10日から、ウェブサイトで、懇談会の様子や市職員による「ご当地公務員」など動画の公開、フェイスブックを運用しており、来年2月にはキャッチコピーやロゴマークなどの公開と同時に、本格的な運用開始を目指します。

ウェブサイトは、多くの人に関心を持っていただくことで進化します。従来の行政的手法にとられない柔軟な発想でのさまざまな展開にご期待ください。

一番大切なことは、市民の皆さんに、自ら住む下関に「誇り」や「愛着」を高めていただき、下関に関わる人もその施策すべてが一体となった「オール下関体制」でプロモーションを進めることです。その取り組みを専用ウェブサイトを活用しながら進めてまいります。

あなたもその一員として「わが街下関市」のプロモーションにご協力ください。

しものせきナビ vol.59

幕末維新紀行

秋根土塁跡

下関市秋根上町二丁目



市報8月号のしものせきナビ「勝山御殿跡」では、関門海峡での攘夷戦に備え、御殿周辺の要所に砲台や土塁などが配置されたことを説明しましたが、今回紹介する「秋根土塁」はまさにそのうちのひとつと言えます。

秋根土塁は、勝山御殿が築城された後の元治元（1864）年5月に、砂子多川の沿岸、今の勝山小学校南側付近に築かれました。周囲を山々や丘陵に取り巻かれた勝山御殿では、唯一西南に開けた谷筋の下流を遮るように土塁が築かれたことが、古



東側上空から撮影

文書や古地図からも知られています。明治時代の地図や、第二次大戦後の航空写真にもその存在を見ることが出来ます。しかし、近年の土地景観の改変に伴い土塁は地中に埋没し、その姿を見ることができなくなっていました。

今回、県道工事に伴い山口県埋蔵文化財センターにより、土塁跡推定地の発掘調査が行われ、堀と土塁で構成された「秋根土塁跡」が発見されました。堀は幅10・5m、深さは1・3mで、土塁は幅11m、残っている高さは0・450・7mあり、大規模なものであったことが分かります。発掘調査により、下関を舞台とした幕末の動乱の様子がまた一つ明らかにになりました。